

# 3月定例会

## 一般質問



3月6日～8日の3日間にわたり、10名の議員から市政に対する一般質問が行われました。質問の一部を抜粋しての掲載となり、内容につきましては各議員において編集しております。

掲載の順番は質問順です。

### 人口対策は「入り」を図り出を制す



佐藤正夫議員

**問** 移住定住支援の現状は転入者と三世同居等に限定されている。若者が親元を離れて市内に居住を構えたくても支援は無い。市外に出てから戻れば支援は有るが、戻ってこない可能性が大きい。「入りを図り出を制す」ために、市民にこそ厚い支援が必要と思うが。  
**答** 転出を抑えることは必要だ。市内の若者が市内に居住を構える時の支援に、どの程度の財政費用が必要か、また二世同居や他の支援方法で、どのような支援ができるか研究して行きたい。

### 農業振興のため振興公社設立を！

**問** JAが合併し農家との距離が遠くなり、個々の農家は困惑と先行きに不安を持っている。市の使命として、農業や農家をどのように守り振興を図っていくのか。「農業振興公社」を立ち上げ振興を図るべきと思うが。  
**答** 市単独は難しい。各地域の営農体が主導して行くのが良いと思うが、必要ならば他市町村を参考に研究して行きたい。

### 学校統合・ICT導入・入札について



松本淳一議員

**問** 保育園・学校課題検討委員会が小中学校のあり方を答申した。地元高校の再編も検討に入るが、今後どうなるか。  
**答** 新年度、適正規模・適正配置の委員会が骨子をまとめ、地域、校区で説明会をして具体的な形が出てくる。県の高校再編での下高井農林高校の位置付けは重要で、飯山市も高校の地域協議会の委員として参加、検討していく。  
**問** 学校へのICT機器の導入はどこまで進んだか。  
**答** タブレット等、授業で活用できるよう整備した。  
**問** H29年度の入札で予定価格が1000万円以上の場合、落札率が99%以上は何件で、そのうち入札が1度で決定したものは何件あるか。  
**答** 9件ある、そのうちの7件は1度の入札で決定した。  
**問** 競争入札でない随意契約は例外とされているがH29年度1000万円を超える随意契約は6件との答えだが、その中に「木質バイオマス導入計画策定業務委託」は含まれているか。  
**答** 含まれている。

### 職人技能後継者育成事業について



岸田真紀議員

**問** 新年度予算に新規事業に「後継者育成事業」に予算500万円が計上されているが、仕組み・内容は。  
**答** この事業の目的は飯山仏壇・内山紙などの伝統工芸だけでなく大工、建具、塗装などの建築技能職についても後継者育成と若者の就労の場を増やしたい。その2つの目的が合致して達成できればと考えている。内容は事業主が技術を継承する意志のあるものや後継者を雇用した場合、給料の2分の1で限度額5万円を3年間補助する。

### 政治姿勢について



小林喜美治議員

**問** 2019年政府予算案は、10月からの消費税10%増税を前提としたものである。市民生活への影響は計り知れない。こうした国政の動向についてどのように見ているのか。  
**答** 消費税の問題は国の財政の根幹の問題である。しっかりと議論をして決定したものである。それに従い事業を進めたように見ているのか。  
**問** 平成31年度予算について  
**答** 平成31年度の当初予算は、福祉医療費の高校生の通院、介護慰労金の3万円から5万円までの拡大など、長年の要望が予算に見込まれたことについて評価したい。予算説明ではここ数年にない積極予算となった要因について尋ねる。

### 平成31年度予算および国民健康保険税について



渡辺美智子議員

**問** 防災体制の整備予算が組まれている。各世帯への対応はどうなるか。また、2地域居住の対応や難聴地域の対応は。これまでと同様無償で貸与。2地域居住は設置費用負担をいまだく。難聴地区については電波調査を行い、個別に屋外アンテナを市の負担で設置する。  
**問** 消費税増税に伴う使用料手数料の負担はどうなるか  
**答** 31年度当初予算には計上していない。6月議会において関係条例を提案予定。  
**問** 今年度国保税の増税、大変な負担。その負担額は。  
**答** 1人当たり1万3700円。13・8%の増となる。  
**問** 所得が低い上に保険料が一番高い。「国保の構造的矛盾」に対して全国知事会や全国市長会において総額1兆円の公費投入を訴えている。市長は強く国に対して要望すべき。  
**問** 国保を堅持することは大切。国に対して要望していく。  
**問** 0歳の子どもからかかる均等割の軽減が出来ないか。  
**答** 均等割を軽減することは公平性が保たれない。

### 新幹線の活用対策について



山崎一郎議員

**問** 新幹線駅周辺への商業施設や企業などの誘致について、新幹線効果を期待する声が大きいがどのような状況か。  
**答** 現在、飲食店など3、4業者が出店に向け具体的に取り組んでいて、業者間の出展内容の調整が整い次第、契約に向けた手続きが進むものと考えている。  
**▼サービス付高齢者住宅の進出について**  
**問** 以前駅周辺に「サービス付高齢者住宅」の誘致を提言したが、どんな進捗状況になっているのか。  
**答** 金山団地近くの市有地にサービス付高齢者住宅18床に、グループホーム18床を併設する施設が進出することになった。  
**問** この施設は住所特例が適用になる、飯山にとってメリットの大きい施設に思うがどんな状況なのか。  
**答** サービス付高齢者住宅施設へ入居した場合は、住所は飯山市となり住民税も納めるが、国保や介護保険料は従前の市町村で負担する制度になっている。

### 共生する社会について



西澤一彦議員

**問** 地産地消、地域経済の循環を抜本的に考える時期に来ている。ただ安い、便利、これだけだとやがて地域全体の活力が失われると考えられるが。  
**答** 商店街の買い物に補助をしている。さらに工夫をこらして活性化につなげる。  
**問** 地域に育てられた子どもから郷土愛にあふれた人間が多く出ることを願うが。  
**答** 大人が創意工夫をこらし社会の力になっていくことを実感することにより郷土愛も生まれてくると考える。  
**▼観光振興について**  
**問** 3年後の中国での冬季オリンピックを契機に爆発的にスキー人口の増加が予想されている。中国の人口は日本の10倍。100年に1度のビックチャンス。飯山への誘客策は。  
**答** 歴史、文化を発信しイベント等でも積極的にPRしていく。  
**問** 大人の農村、農業体験ツアーが注目を浴びている。企業研修としても実施されている。感動し癒されること、早急な取り組みを提案するが。  
**答** 今後検討したい。

## 一般質問

**問** 新年度予算に新規事業に「後継者育成事業」に予算500万円が計上されているが、仕組み・内容は。  
**答** この事業の目的は飯山仏壇・内山紙などの伝統工芸だけでなく大工、建具、塗装などの建築技能職についても後継者育成と若者の就労の場を増やしたい。その2つの目的が合致して達成できればと考えている。内容は事業主が技術を継承する意志のあるものや後継者を雇用した場合、給料の2分の1で限度額5万円を3年間補助する。

**◆善光寺仁王像の関連について**  
**問** 長野市の善光寺の仁王像が今年100年を迎えた。飯山に里帰りした仁王像の移設イベントはどのように開催されるのか。  
**答** 長野市の善光寺では100年記念イベントが行われている。飯山市でも善光寺とタイアップして記念イベントを行う。内容は今年の4月25日に教育長による記念講演、その後善光寺関係者による法要を行う予定。

**問** 2019年政府予算案は、10月からの消費税10%増税を前提としたものである。市民生活への影響は計り知れない。こうした国政の動向についてどのように見ているのか。  
**答** 消費税の問題は国の財政の根幹の問題である。しっかりと議論をして決定したものである。それに従い事業を進めたように見ているのか。  
**問** 平成31年度予算について  
**答** 平成31年度の当初予算は、福祉医療費の高校生の通院、介護慰労金の3万円から5万円までの拡大など、長年の要望が予算に見込まれたことについて評価したい。予算説明ではここ数年にない積極予算となった要因について尋ねる。  
**問** 一般会計で6億円が増えたが大型の事業が今年あること。移住・定住住宅の建設や、防災無線のデジタル化に高額な予算がかかること、他に市民体育館の耐震化事業もあり、2021年度に予定しているインターハイに向けての施設整備などが主な内容である。

**問** 防災体制の整備予算が組まれている。各世帯への対応はどうなるか。また、2地域居住の対応や難聴地域の対応は。これまでと同様無償で貸与。2地域居住は設置費用負担をいまだく。難聴地区については電波調査を行い、個別に屋外アンテナを市の負担で設置する。  
**問** 消費税増税に伴う使用料手数料の負担はどうなるか  
**答** 31年度当初予算には計上していない。6月議会において関係条例を提案予定。  
**問** 今年度国保税の増税、大変な負担。その負担額は。  
**答** 1人当たり1万3700円。13・8%の増となる。  
**問** 所得が低い上に保険料が一番高い。「国保の構造的矛盾」に対して全国知事会や全国市長会において総額1兆円の公費投入を訴えている。市長は強く国に対して要望すべき。  
**問** 国保を堅持することは大切。国に対して要望していく。  
**問** 0歳の子どもからかかる均等割の軽減が出来ないか。  
**答** 均等割を軽減することは公平性が保たれない。

**問** 新幹線駅周辺への商業施設や企業などの誘致について、新幹線効果を期待する声が大きいがどのような状況か。  
**答** 現在、飲食店など3、4業者が出店に向け具体的に取り組んでいて、業者間の出展内容の調整が整い次第、契約に向けた手続きが進むものと考えている。  
**▼サービス付高齢者住宅の進出について**  
**問** 以前駅周辺に「サービス付高齢者住宅」の誘致を提言したが、どんな進捗状況になっているのか。  
**答** 金山団地近くの市有地にサービス付高齢者住宅18床に、グループホーム18床を併設する施設が進出することになった。  
**問** この施設は住所特例が適用になる、飯山にとってメリットの大きい施設に思うがどんな状況なのか。  
**答** サービス付高齢者住宅施設へ入居した場合は、住所は飯山市となり住民税も納めるが、国保や介護保険料は従前の市町村で負担する制度になっている。

**問** 地産地消、地域経済の循環を抜本的に考える時期に来ている。ただ安い、便利、これだけだとやがて地域全体の活力が失われると考えられるが。  
**答** 商店街の買い物に補助をしている。さらに工夫をこらして活性化につなげる。  
**問** 地域に育てられた子どもから郷土愛にあふれた人間が多く出ることを願うが。  
**答** 大人が創意工夫をこらし社会の力になっていくことを実感することにより郷土愛も生まれてくると考える。  
**▼観光振興について**  
**問** 3年後の中国での冬季オリンピックを契機に爆発的にスキー人口の増加が予想されている。中国の人口は日本の10倍。100年に1度のビックチャンス。飯山への誘客策は。  
**答** 歴史、文化を発信しイベント等でも積極的にPRしていく。  
**問** 大人の農村、農業体験ツアーが注目を浴びている。企業研修としても実施されている。感動し癒されること、早急な取り組みを提案するが。  
**答** 今後検討したい。



# 一般質問

ガバメント・クラウド・ファンディングの取組



飯田健一議員

**問** ふるさと寄付金のガバメント・クラウドファンディング(GCF)とはどのようなものか。

**答** 自治体などが事前に使用の方を特定し、目標額と時期を示して賛同者から寄付金を募集する仕組み。

**問** 県はGCFに取り組みの際は、まず予算案に盛り込み、議会で審議され承認されて初めて実施できると説明している。今回のGCF実施に当たり、市から事前に議会に説明があったのか。

**答** 「雪まつりの大型雪像制作」については、9月定例会で説明し予算案の議決をいただき、「護摩堂修理プロジェクト」については、12月定例会一般質問において答弁した。

**問** 護摩堂の応募開始は12月18日で、説明は21日の一般質問の場ということでは、時間のずれがあるが。

**答** 時間のずれはあっても、説明したとおりである。

**問** 議会の承認が必要ではないか。

**答** 「負担付きの寄付」には該当しないと考える。

インバウンド観光・地域コミュニティの重要性



吉越利明議員

**問** この冬の外国人観光客の国別による入込状況は。

**答** かまくらまつりレストランは、タイ275人、オーストラリア265人、台湾246人、香港212人となっている。

**問** 地域コミュニティの重要性と今後の課題は。

**答** 集落は伝統の継承、災害対応など市と密接な関係にある。少子高齢化によるインフラの維持管理や将来展望など、集落と一緒に取り組んでいく必要があると感じている。

**問** (仮称) 飯山塾の具体的な取り組み内容は。

**答** 若い方々や女性の意見を聞き、将来の地域を担っていく人材育成を進めたい。

**問** インフルエンザ感染拡大に対する市の対応は。

**答** 教育現場では保護者にはメール等で情報配信をし、市内の教育施設に連絡をする体制になっている。市民には防災無線等で注意喚起をしている。

**問** 高齢者世帯の買い物支援についてどう考えているか。

**答** 商工会議所や事業者と連携をし、買い物環境が良くなるよう検討していきたい。

若者定住支援について



高山恒夫議員

**問** 市内若者への住宅支援は。

**答** 三世代等同居住宅建設支援での同居基準に概ね1キロ程度の近居も含めたい。

**問** スポーツ大会と地域振興

**答** 市内の小学生130人が参加。全県選手との交流でモチベーションを高める機会と同時に保護者の負担軽減にもなっている。継続してきたことのプラス面が多い。

**問** 宿泊施設整備補助金の見直しは。

**答** 3年間延長し、温水洗浄トイレ、キャッシュレス専用端末、多言語翻訳端末機など新たに補助対象を拡大したい。

**問** そば振興

**答** そば研究会はどのような活動を進めるか。

**答** そば振興に賛同した法人個人など12組参加で設立。そばの6次化や収穫の省力化、雪室活用等研究を進めている。

**問** そばの歴史をどう学ぶか。

**答** 飯山藩では將軍家へそば粉を定期的に献上していた。これはそば振興にかなりのインパクトがあると思う。

## 議会活性化特別委員会を開催しました

去る4月19日に第2回委員会を開催し、今後の進め方について意見交換を行いました。

委員からは、「まず議会基本条例を作り、それに向けて改革を行うべき」、「最初に市民に對しどのような改革を行うべきかアンケートを行い、市民の考えを聞くべき」、「市民の中からモニターを委嘱し一緒に検討してはどうか」などと言った意見が出されました。

これらの意見に対しては、それぞれ「基本条例を作るには議会として相当の勉強が必要。何を入れ込むかこの委員会で十分に検討してから条例の制定を検討すべき」、「アンケートはこちらからの聞き方によって結果が大きく変わる可能性は否定できない」、「モニターについては、いずれは考える必要があるのかもしれないが、先ずは自分たちで考えるべきではないか」など意見が出されました。

委員会では「市民との意見交換を含む議会活性化の必要があること」と「どんな内容の議会改革をどの様に行うかは2つの分科会を設けて検

討すること」の2点を合意し、次回以降更に検討を深めることとしました。

議会活性化の必要性については全ての委員が理解しているものの、その方法については色々な考え方があります。

今後とも議論を深め、その都度市民の皆さんにお知らせしてまいりますので、議会事務局までご意見をお寄せください。

## ◎行政視察受入

4月18日東御市議会の議会活性化委員会の皆様が「予算・決算の審査方法について」視察に来飯されました。



正副議長・議会活性化特別委員会正副委員長が出席しました。概要を説明後、活発な意見交換が行われました

## 管外行政視察報告

産業民生常任委員会  
島根県出雲市・松江市を4月22日～24日に訪問しました。

### ○出雲市 婚活と移住定住の取り組みについて

平成24年度に新たな出雲の國づくり計画「出雲未来図」を策定し縁結びプロジェクトを盛り込み男女の出会いの場創出、結婚支援に取り組んでいる。

特に女性に対しての支援が手厚く囑託職員として「婚活サポートマネジャー」を配置し女性の結婚に向けての意識向上を図るため、結婚相談や身だしなみ、コミュニケーションのアドバイスなどを行っているほか、女性専用相談窓口の常設により気軽に電話やメールができる体制をとっていることでした。他に移住定住対策として「出雲大好き！ターン女性支

### ○松江市 地産地消の促進と新規就農者対策について

地産地消を推進するための行動計画として、生産者、消費者、市場関係者などが共創・協働で取り組む「松江市地産地消推進行動計画」を策定し、地産地消の促進に向けた取り組みをしている。地産地消の好循環で「儲かる農林水産業の推進」を基本理念に掲げ消費・生産、加工・流通、販売・啓発を基本目標に取り組んでいることでした。

その他にも新規就農者対策として認定就農者制度を設け、これから始める農業の目標、その実現方法を具体的に記載した「就農計画」を作成し、認定を受けることで「認定就農者」になり、国・県等

の就農支援制度が活用できる事業を行うなど、次世代につながる農林水産業を目指し、様々な事業に取り組んでいます。



松江市役所視察の様子



出雲市役所視察の様子

## 議会を傍聴しませんか!!

市政を知る良い機会です。議会傍聴にお出かけください。議場は市役所5階です。傍聴席入口からお入りください。

本会議はiネットでも放映しています。また、過去の会議録は市議会ホームページから検索できます。

### 令和元年6月定例会 会期日程(予定)

◆招集・議案上程	6月 10日(月)
◆一般質問	18日(火)
	19日(水)
	20日(木)
◆各常任委員会審査	21日(金)
	24日(月)
◆委員長報告・採決	27日(木)